

単元名 地域のあり方—京都市を例に—

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 地域の課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解し、資料などから読み取りまとめる活動などを通して、地域の課題にまつわる特色を理解することができる。
- (2) 地域のあり方を、他地域との結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、地域でみられる課題についての解決策を、他地域と比較したり、様々な立場の人の立場に立ったりして、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- (3) よりよい地域社会の実現のために、地域の課題を主体的に解決しようとするとともに、多面的・多角的に地域の課題の解決策を話し合い、考え、意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

11220204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 地域の課題と特色についてつかむ。</p> <p>★五つの視点から、地域にみられる課題を整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本全体の課題を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境 ・人口や都市・村落 ・産業 ・交通・通信 ・その他（歴史的背景・持続可能な社会づくり） ○調査テーマと調査する地域を決定する。 ○単元の学習問題をつかむ。 ●地域で見つけた課題を解決するためには、今後どのようなことが求められるのだろう。 <p>2～3 地域の課題の要因を考察する。</p> <p>★地域の課題がなぜ生じているのかを考察し、構想の手がかりをつかもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題に対する取り組みを調査し考察する。 ○課題を多面的に捉えて考察する。 <p>4 課題の解決に向けて構想する。</p> <p>★地域の課題を解決するための構想をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よりよいまちづくりプランを考える。 <p>5 まちづくり会議を開く。</p> <p>★地域のあり方について考えるまちづくり会議を開こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会議を開くにあたって気を付けることを確認する。 ○まちづくり会議を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○会議を終えて、振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教P. 263～P. 265 ・日本全体の課題と地域にみられる課題の共通点や異なる点に着目しよう。（地域どうしのつながり） ・五つの視点を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が追究してみたい課題を決定させる。 ・（地域どうしのつながり、地域） <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 266～P. 269 ・追究する課題が、様々な視点またはそれに関わる様々な立場の人々とどのように関連しているかに着目させる。（地域） ・課題と関連の深い視点以外にも着目させ、総合的に考察させる。 ・他の地域では、同じような課題に対してどのような取り組みをしているのかを調べて比較させる。 ・教P. 270～P. 271 ・地域の課題の変化や持続可能な地域づくりに着目させる。（地域） ・コンセプトをはっきり示したり、分かりやすい提案になるように工夫させたりする。 <p>【評】地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論し、まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 272～P. 273 ・地域の課題の変化や持続可能な地域づくりに着目させる。（地域） <p>【評】地域の「まちづくりプラン」を提案し、地域をよりよくするために話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 272の「スキルUP」を活用して、対立したときに合意を形成する方法や、構想した結果の発信方法などについて確認し、公民的分野の学習につなげる。

【 備 考 】